

事業報告

事業名 令和7年度 文化財市民講座「古写真の魅力とマミヤ写真館」
日時 令和7年9月27日（土）午後1時30分から午後3時30分まで
場所 東芝テック株式会社静岡事業所（大仁） 2階会議室
来場者人数 90名
登壇者 井桜 直美（日本カメラ博物館 古写真研究員）
荻野 さおり（伊豆の国市企画課 学芸員）

✓ 挨拶（赤畑企画課長）

講座の目的について、（仮称）伊豆の国歴史館の設置に伴い、伊豆の国市文化財保存活用計画の「文化財保存活用区域」で「促進区域」に位置付けられている大仁区域にて、大仁地区出身で明治時代～昭和時代に活躍した発明家の間宮勝三郎と間宮精一父子と、それに関連して古写真をテーマにした本講座を企画したことを説明した。

✓ 解説「実業家の間宮勝三郎とカメラを作った間宮精一」（講師：荻野さおり）

大仁地区に縁がある偉人として、呉服店の経営や醸造酒の製作などを経て、金庫や加減算機などを発明し大仁駅西側に間宮堂を立ち上げた間宮勝三郎と、大仁地区の出身で、父・勝三郎の間宮堂で金銭登録機（レジスター）を発明した後、マミヤ光機製作所を立ち上げて「マミヤシックス」などの様々なカメラを発明・販売した間宮精一について解説した。尚、間宮堂は本講座で会場を借用した東芝テック(株)静岡事業所（大仁）の前身である。

✓ 講演「秘蔵されていた乾板写真 震災を乗り越えた三嶋大社の軌跡」「幕末・明治 写真館のはじまり」（講師：井桜直美氏）

数年前、三嶋大社から古い乾板写真が発見され、そこには、北伊豆地震の被害を受けた三嶋大社の当時の様子が残されていた。被害状況だけでなく、当時の三嶋大社の建造物や人々の様子もわかる資料として、写真から読み取れることを解説した。

後半は、「幕末・明治 写真館のはじまり」として日本における写真館の歴史について、写真資料を示しながら解説を行った。

✓ 資料として、解説の講座資料を配布した。

✓ パンフレットコーナーに、文化財展示施設開館に向けたカウントダウン講座（企画課）、韮山反射炉世界遺産登録10周年講演会（文化財課）、韮山城祭り（文化財課）、花咲く伊豆の国フェア（環境政策課）を配架した。

記録写真



写真1 解説「実業家の間宮勝三郎とカメラを作った間宮精一」(講師：荻野さおり)



写真2 講演「秘蔵されていた乾板写真 震災を乗り越えた三嶋大社の軌跡」
「幕末・明治 写真館のはじまり」(講師：井桜直美氏)



写真3 会場のようす